

最北の戦国城下町

上ノ國



北方中世史研究の最前線から

勝山館直下の市街地や洲崎館跡の発掘調査で、勝山館の時代よりやや古い中世の陶磁器が相次いで出土している。洲崎館は、コシヤミンの戦い後成立したと伝えられているが、それ以前の古い時代の遺物も出土している。このことから、勝山館成立以前の中世の時代に、天の川河口にあったと考えられる潟湖の周辺や大潤湾沿岸では、既に集落の形成があったことが考えられており、勝山館成立以前の中世の様相を解明するのが今後の課題といえる。

